

■ スクール・ミッション

グローバル教育を推進する普通科・グローバル科併置の伝統校として、広い視野で地域の課題を発見し解決する探究活動を通して、将来の Shizuoka を支え、行動する人材の育成を目指す。

本校の「グローバル教育」

Think Globally, Act Locally. 地球上で起きている様々な問題が、遠い世界で起きているのではなく、自分の生活に関係していることを意識付け、身近なところから行動を開始し、学びを実生活や社会の変容へとつなげる教育。

(持続可能な開発をするための教育 (ESD) に基づく)

■ スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー

卒業までにこのような生徒(人)を育てます

- 1 思いやりがあり、社会を支える一員として自律した行動が取れる人
- 2 自分の目標や課題を見いだして、失敗をおそれずに取り組む人
- 3 課題の解決に向け、自他の考えを吟味して、解決策を提示できる人

カリキュラム・ポリシー

このような学びを行います

- 1 探究的な問いを充実し、多様な人々と協働して問題解決に向かう「授業」
- 2 「地域の人々に笑顔を届けよう」をテーマに地域の課題を理解し、解決方法を探る「城北スマイルプロジェクト」
- 3 生徒の自律的な態度を育て、自己肯定感を高める「学校行事・生徒会活動・部活動」

アドミッション・ポリシー

このような生徒を求めます

- 1 主体的・協働的に学ぼうとする意欲のある者
- 2 「高き希望(のぞみ)」を持ち、自己実現を目指す者
- 3 グローバルな舞台で多様な人々と関わるための英語力を身に付けたい者

■ キーワード

グローバル教育

グローバル科、英語授業、国際交流だけでなく、学校全体の教育活動中で取り組む。

探究活動

総合的な探究の時間「城北スマイルプロジェクト」、グローバル探究、教科の学習を深める探究。進路選択につながる探究活動を研究する。

5つの力

全ての教育活動において「5つの力」のうち、どの力を身に付けさせたいのかを意識する。

心理的安全性

勇気づけのボイス・シャワー、危機管理の徹底で安全・安心な学校をつくる。

■ 5つの力

グラデュエーション・ポリシーを達成するために必要な資質・能力「5つの力」はESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度と合致カリキュラム・ポリシーを軸に育成する。

「つながる力」 Respect Each Other

- ① 自分に自信を持ち(自己肯定感)、多様な価値を認めることができる。
- ② 自分の考えを適切に表現して、伝えることができる。(表現力)
- ③ 品位ある行動(礼儀、マナー、ルール順守)をとることができる。

「みつける力」 Consider the Future

- ④ 将来を見通して、目標や課題を見いだすことができる。
- ⑤ 目標実現や課題解消に向けた計画を立てることができる。

「行動する力」 Act Positively

- ⑥ 考えたことや計画したことをすぐに実行することができる。
- ⑦ 失敗をおそれずに挑戦することができる。

「考える力」 Think with Creativity

- ⑧ 複数の情報を比較し、最適な方法を選択することができる。(批判的思考力)
- ⑨ 他者の考えを理解し、協働して問題を解決することができる。(協働的思考力)
- ⑩ 情報をつないだり、応用したりして、新たな解決策を生み出すことができる。(創造的思考力)

「グローバル力」 Global Competence

- ⑪ 異なる文化や背景をもつ他者と共存・協調しながら、グローバル社会の抱える課題の解決に向け行動することができる。
- ⑫ 世界中の様々な人に自分の意見を伝え、対話することができる。(英語力)

*グローバル力とは、グローバル社会に貢献できる力を意味する。

■ 令和8年度 スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 生徒が主体的に自律した行動が取れるよう、生徒の行動をポジティブ・フォーカスで捉え、勇気づけのボイス・シャワーにより、自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を推進する。
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教師による「授業改善」及び生徒による「学習改善」を充実する。
- ウ ICTを積極的に活用した教育活動を実現する。特に生徒が主体的にICTを使う場面を創出する。
- エ 城北スマイルプロジェクトやグローバル科の行事を通して、地域やグローバルな舞台で活躍する人々と積極的に交流する。
- オ 世界中の様々な人々と協働していく力を身に付けるための英語授業を展開する。
- カ 安全・安心な学校づくりを推進するとともに、ワークライフバランスの向上に努めます。